
盗賊と秘宝と神

天窪 雪路

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

盗賊と秘宝と神

【Nコード】

N8664P

【作者名】

天窪 雪路

【あらすじ】

ある一人の盗賊が秘宝の噂を聞き付けた。

ある一人の盗賊が秘宝の噂を聞き付けた。

彼はあらゆる筋から秘宝にまつわる情報を入手し、いよいよその秘宝の眠る遺跡に忍び込んだ。

彼は様々な苦難を乗り越え、ようやく秘宝を手に入れたのだ。

彼は街に戻り、ささやかな宴の後に夢を見た。何百何千ものミイラが執拗に追いかけてくる。宝を返せ、と。

その夜、秘宝の失われた遺跡付近の農村ではすべての家畜が死滅するという怪事件が起こった。遺跡奥深くのところで、美神アプロディーテーの封印が解かれていた。

アプロディーテーは誰ぞ我が眠りを妨げる者は、と怒った。街人は言った。アプロディーテーは不老不死の神であると。

それゆえ、アプロディーテーは彼女の大切な存在が失われ続ける様を見続けなければならなかった。

そのような拷問はいつしか神の心をさえ破壊した。

アプロディーテーはもう何も見たくはなかった。ゆえに眠りを求めた。

不老不死のアプロディーテーを倒す術はなかった。

遺跡に秘められた術を駆使し、再びアプロディーテーを封印した。

その戦で、盗賊は秘宝と引き換えに右腕を失った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8664p/>

盗賊と秘宝と神

2011年1月16日01時28分発行